

# いしずえ

## 学校教育目標

- ・意欲を持ち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



＜国西小との交流＞



## 《小学生と合唱による交流を行いました！》

6月11日(月)と13日(水)の2日間、本校3年生は、学区内の3つの小学校を訪問し、「合唱による小中交流」を行いました。これは、「小中一貫教育推進事業」の1つであり、「合唱」により小・中学生の交流を図ることを目的としています。

11日(月)は、国分寺西小に1・2組、国分寺東小に3～5組が同い、先週の合唱コンクールで発表した各クラスの合唱曲を披露し、続いて、小学生の全校合唱の曲を聴かせていただきました。その後、代表生徒・児童等による感想発表となりましたが、尊敬や感謝の言葉が相次ぎ、和やかな雰囲気の中で交流を終えることができました。

また、訪問した本校職員に対しては、校長先生をはじめ、小学校時代にお世話になった先生方から、当時の様子を伺ったり、「見違えるほど、立派に成長した。」といったお誉めの言葉をいただいたりして、教員間の交流も図ることができました。

13日(水)には、国分寺小において、最優秀賞受賞の1組並びに金賞受賞の2組がそれぞれ、合唱の発表を行いました。その後、小学生に教えてもらい、手話をつけながら一緒に歌を歌ったりしました。国分寺小の先生からは、「毎年、国分寺中の合唱コンクールが近づくと、練習中のきれいな歌声が聞こえてきて、子どもたちは、この交流の日が来るのを本当に楽しみにしているんです。」という、ありがたいお言葉をいただきました。

小中一貫教育は、「小・中学校の9年間を通して、〇〇のような(〇〇のできる)子どもたちを育成する」が最たる目標となりますが、国分寺中学区においては、伝統の「合唱」が、その大きな手立ての1つとなるように思います。



＜国東小との交流＞



＜国小との交流＞

## 《多くのことを学んだ3日間でした！》

6月27日(水)～29日(金)の3日間、3年生は、京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は、奈良・法隆寺や東大寺の見学。2日目は、班別活動による京都市内見学。最終日は、学級別活動による京都市内見学、体験活動等を行ってきました。

生徒たちは、古都の文化財や史跡を見学し、日本の歴史・伝統・文化等について学ぶとともに、現地の人や外国人観光客との交流を通して、社会性を高めることもできたように思います。また、集団行動・班別活動を通して、規律やマナーを遵守し、自主的・主体的に行動しようとする心情や態度を培うことができました。本当に多くのことを学ぶことのできた3日間でした。



＜出発式～実行委員長の話＞

旅行中、随所に見られた、生徒たちの輝かんばかりの笑顔や、余裕さえ感じられる落ち着いた言動からは、人間としての大きな成長の跡が感じられました。

生徒引率で同行した私からは、今回の修学旅行の特徴や大きな成果等について、何点か挙げさせていただきます。

### 【1 心身両面での安定】

各ご家庭のご協力もあり、出発時並びに旅行中に体調を崩す生徒はほとんどいませんでした。いた場合でも、大変軽微なもので済みました。また、友人との間でトラブルとなり、結果、声を荒げたり精神的に落ち込んだりする場面も、ほぼ皆無の状態でした。

生徒たち自身も、落ち着いて無理をすることなく、自己の体調管理に努めたり、適度の緊張感をもって生活を送ってくれたりしたお陰であると考えます。

### 【2 班別活動時の自主性・主体性】

今年度も、2日目の京都市内見学では、生徒5, 6名による班別活動を取り入れました。さらには、協調性や自主性を養うことを目的に、「1日貸し切りタクシー」ではなく、「1日フリーパスを利用した電車やバス等、公共交通機関」による移動としました。

もちろん、その実施にあたっては、生徒たちはGPS機能付きの携帯電話を帯同し、随時連絡や位置確認を可能にしたり、生徒の行程案に対して教員と旅行業者による二重三重のチェックを行ったりするなどの安全対策も行いました。

当日は、はぐれる生徒が出る等のトラブルもなく、無事活動を終えることができましたが、感心させられたのが、予定どおり進まなかった時の生徒たちの対応についてでした。

- ・ 時間が足りなくなってしまうので、見学場所を一部カットしたり、見学時間を短くしたりして調整した。
- ・ 帰着時間の遅れることが明らかになった時点で、必ず本部の方へ断りの電話を入れた。

見知らぬ土地での活動でもあり、引率者にも多少なりの不安がりましたが、生徒たちは、教師の期待以上の活躍を見せてくれたように思います。

### 【3 体験活動における真剣さ】

今回の修学旅行では、1日目＝河村能舞台（能鑑賞）、2日目＝和本作り体験、3日目＝和菓子作り体験、友禅染体験等、体験活動を多数取り入れました。生徒たちにとっては、いずれも初めての体験であるにも関わらず、戸惑いながらも、全員が最後まで熱心に取り組んでいました。

能鑑賞では、能や使用する楽器の説明、代表生徒による一部体験活動に、167名の生徒が集中し、一体感が感じられるほどでした。和本作りでは、生徒たちは、時間の許す限り、図案の彩色に工夫を凝らして取り組んでいました。和菓子作りや友禅染では、職人さんの説明を一言も聞き漏らさぬよう熱心に聞き入り、それぞれが自分の作品を作り上げていました。

古都京都だからこそその体験を味わわせることができ、また、体験活動後の生徒たちの満足そうな笑顔を見て、引率者一同、大変嬉しく思いました。

以上のように、成果の極めて多かった修学旅行でしたが、それを今後の学校生活にどのように生かしていくかが、これからの課題と考えます。また、今回の修学旅行の結果を基に、次年度以降の計画を立案していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



＜奈良・東大寺＞



＜河村能舞台（能鑑賞）＞



＜京都市内班別活動＞



＜班別活動～ホテル到着＞



＜和本作り＞